

日本食品衛生学会 東海・北陸ブロックイベント

第4回東海・北陸公開講演会

気候変動や自然災害、そして戦争。世界情勢は刻々と変化し、経済的な要因も伴って食品事情は大きく変化しています。食品科学の進歩に伴い、新たな食品も登場し、食の安全確保にはこれまで以上に知識が必要な時代となってきました。食品業界の方はもちろん、一般市民の方々にも最新の情報を共有させて頂きたく、公開講演会を企画致しました。食品衛生に対する意識の向上に貢献できれば幸いです。

主催：公益社団法人日本食品衛生学会 東海・北陸ブロック

共催：中部大学（JST次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING））

開催日時：2024年2月10日（土）13:30-17:00

開催場所：中部大学春日井キャンパス 不言実行館 アクティブホール

プログラム

13:30-13:35 開会挨拶 日本食品衛生学会東海・北陸ブロック 理事
名古屋市衛生研究所 大野浩之

13:35-14:25 講演1 座長 フジパングループ本社(株) 口地眞智子
「食のグローバル化時代における食品分析の役割」
一般財団法人 食品分析開発センターSUNATEC 菊川浩史

14:35-15:25 講演2 座長 静岡県立大学 増田修一
「健康食品に対する誤解 ～「食品だから安全」を信じて大丈夫?～」
国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所 千葉 剛

15:35-16:25 講演3 座長 常葉大学 杉山千歳
「グローバル時代にみるビブリオ感染症
～腸炎ビブリオの流行史と変容する東南アジアでの生食のリスク～」
石川県立大学 生物資源環境学部 食品科学科 中口義次

16:25-16:30 閉会挨拶 日本食品衛生学会東海・北陸ブロック ブロック長
中部大学 堤内 要

16:30-17:00 交流会
(お茶とお菓子を用意しております。情報交換などの機会としてご利用下さい。)